



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2015-2016 年度

7月号

NO. 310

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL 03-3615-5568

強調月間

キックオフ
YMCA サービス
ASF
RBM

国際会長：Wichian Boonmapajorn(タイ) 主題:「信念のあるミッション」
アジア地域会長：Edward K.W.Ong(シンガポール) 主題:「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事：渡辺 隆(甲府) 主題:「原点に立って、未来へステップ」
関東東部部長：鈴木雅博(東京江東) 主題:「チェンジ!!」
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題:「変化と継続! クラブ一丸!!」

主題：変化と継続。クラブ一丸

会長 鮎澤正和

2015-2016 年度会長を仰せつかりました鮎澤です。まだ休会制度がない時期に 3 年間クラブを離れましたが、戻ったときも以前と変わらない態度で接してもらえたことはとても有難かったですし戻ってよかったと思いました。

さて今期の会長主題を「変化と継続。クラブ一丸」としました。ひがしクラブも発足当時あるいは 10 年前と比べてみても会員数の減少と年齢の上昇は否めません(尤も前期は 2 名増えましたが)。今、ひがしクラブはピースウォーク、EMダンゴをはじめ多くのプログラムに関わっています。クラブが今まで歩んできた道を物語るとともにそのプログラムを継続することによって「ひがしクラブ此処にあり」とのプレスを与えることができます。

また、現状に満足しては進歩がありません。変化はクラブを更に活性化させます。どの様な変化か?それは私を含めメンバー一人ひとりのなかにあると思います。常に変化の可能性を追い求め活動して行くことが必要だと思います。少ない人数でプログラムをこなすには全員の力の結集が必要です。継続するプログラムの中にも変化を追い求める。そのためにもメンバーの力を結集する、云うことを今期の主題としたいと思います。

よろしく願いいたします。

7月例会(総会)

と き 2015年7月9日(木)
18:30~20:30

ところ 東陽町センター「多目的室」
受付:野本多美子
司会:森村 実

☆プログラム

開会点鐘
ワイズソング&信条
会長挨拶
食前の感謝
今月の誕生日・結婚記念日
総会議事
・前年度会計報告
・今年度活動方針
・今年度予算案
スマイル/各種報告
閉会点鐘

会長 鮎澤正和

会長 鮎澤正和

✪ 今月の聖句 ✪

『平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。』

—マタイによる福音書5章9節—

6月例会

出席者 12名 ネット 1名
会員出席数 9名 コメント 名
在籍数 12名 ゲスト 2名
(広義会員2名) メンberシップ 名

会員出席率 90 %

スマイル

6月
20,000円

2014-2015年度
累計

85,306円

プルリング

2014-2015年度
累計

90.5 kg

2015-2016 年度役員

会長 鮎澤正和
副会長 須田哲史
書記 森村 実
会計 野本多美子
担当主事 花井雅男

第16回東日本区大会

第18回東日本区大会が6月6・7日厚木市文化会館とレンブラントホテルにて開催された。厚木クラブのホスト「ここから未来へ」の大会スローガンに、ワイズメン・メネットが集った。ひがしクラブからは、鮎澤・金丸・高野・竹内・野本・花井の6名が参加した。

13時開会、オープニングは相模の国・白龍太鼓の勇壮な太鼓。北海道部から始まる恒例のバナーセレモニーが行われ、関東東部は新調された部バナーを先頭に10クラブが続いた。田中理事の開会宣言と点鐘、聖書朗読・祈祷、開会挨拶と来賓による祝辞で開会式が終了した。続いて東日本区アワーⅠでは理事年次報告、事業主任報告、部長報告が行われた。関東東部は各クラブの活動をスナップでまとめた画像による報告が行われた。記念講演は、神奈川工科大学山本圭治郎教授による「ロボットのチカラ」と題した講演が行われた。学生と登場したロボットのあゆこちゃんと体操を楽しんで、壇上に上がりロボットとのふれあいタイムも設けられた。17時より各事業主任がコーディネーターとなった分科会が行われた。晩餐会は19時からレンブラントホテル相模の間で行われ、指定された席にそれぞれ分かれ着席ディナーで開会された。時が経つにつれ仲間たちが集まり、そこ此処で賑やかに小宴会が開かれていた。厚木クラブ手作りディナーショー、第19回東日本区大会、アジア地域京都大会のアピールが行われ晩餐会は終了した。その後の二次会は、江東・グリーン・ひがしクラブ、ウエストの森田さんご夫妻、他クラブの方々も加わり賑やかに交流会が遅くまで行われ1日目が終了した。

2日目の東日本区アワーⅡは、レンブラントホテル相模の間で行われた。表彰式では、ひがしクラブは献金達成賞の他に、会員増強事業部門で新クラブ設立賞が与えられ高野会長が登壇し表彰を受けた。続いて理事引継式と役員引継が行われ渡辺次期理事の力強い所信表明と新役員紹介で東日本区アワーⅡが終了し、閉会式で厚木クラブ堀田会長から第19回東日本区大会ホストの長野クラブに大会旗の引継が行われ万雷の拍手で全日程を終了した。



★今月の誕生日

野本 晃さん(17日)

♥今月の結婚記念日

野本多美子ご夫妻(17日)

おめでとうございます



6月例会(引継)報告

6月例会(引継)は、6月11日東陽町センター多目的室にて行われ、金丸書記の司会で進められた。高野会長からは、今期の活動を振り返り報告と感謝のあいさつがあった。続いて、竹内さん編集による一年間の活動スナップを動画のまとめたスライドショーで今期の活動を振り返った。続いて全員による一年の評価は、仕事のこと、私生活のこと、クラブのこと等々様々な一年を振り返った評価が述べられた。高野会長から鮎澤会長へ会長バッジが引継がれ、固い握手で略式ではあるが引継式が終了した。クラブ表彰もなく盛上げに欠けた今季最後の例会であったが、マイペースでワイズ活動を行っているひがしクラブ。ペースダウンすることなく、新年度もひがしクラブらしさでワイズ活動を続けて行きましょう。

高野会長そして皆さん、一年間お疲れ様でした。



今期の表彰を手にして



担当主事 花井雅男

▼YMCAが青少年を育成する世界的な組織だということ内外にアピールする国際イベント、「YMCAワールド・チャレンジ2015」が今年もYMCAの誕生日前後一週間に開催され、東京YMCAは6月5日と8日、ユースや利用者を対象としたイベントを企画・実施して世界に連なった。両日で200名以上の参加があり、YMCAの存在意義を改めて多くの人にアピールする機会となった。

▼6月19～20日、東山荘で「第9回トップ・リーダーシップ・セミナー」が開催された。東京からは廣田総主事の他、浅羽俊一郎氏(国際委員)と笈川光郎氏(会員部運営委員)が参加し、ボランティアリズムを育む会員運動の事例を分かち合った。6月20～21日には、「第4回同盟協議会」が開催され、東京YMCA選出代議員として、廣田総主事、青山鉄兵氏(会員)、勝田正佳氏(評議員会会長)が参加。ユースの主體的な参加によって活気ある協議がなされ、日本YMCA同盟中期計画2年目の方向性が改めて共有された。

▼6月22～27日、第18回となる会員芸術祭が東陽町センターで開催された。開催に先駆けて20日に行われたオープニングセレモニーでは、菅谷功氏(新槐樹社準委員)による講評と、奥平哲也氏によるマリンバ演奏が会場を彩った。会員やそのご家族、関係者など64名(団体含む)による85点の作品が出展された。会期中は約260名が来場、今回も水彩画、油絵、書道、写真、陶芸、彫刻など、多彩で個性的な作品がそろった。